

「西宮市防災マップ」を全面リニューアル

平成 20 年度に作成し、改定と増刷をしてきました「西宮市防災マップ」を、平成 26 年 10 月に全面リニューアルし、市内全戸に配布いたします。

新たに作成した「西宮市防災マップ」は、東日本大震災や近年の土砂災害等を踏まえ、自分の家の危険性と避難場所を分かりやすく作成しており、市民の皆様の日頃から家族で、避難場所等の確認をしていただき、防災意識の向上に役立てていただきたいと思います。

1. リニューアルのポイント

新たな「西宮市防災マップ」は、現在の西宮市防災マップで課題となったポイントを踏まえ作成している。

課題となったポイント 1	今までの防災マップが家庭内で保存されていない
改善した内容	家庭内で保存されている他の重要書類などと同じ大きさと、本棚などに収納しやすい <u>A4版</u> とするとともに、現況の新聞型では、広告などと一緒に捨てられる可能性があるため、 <u>冊子型</u> とし、家庭内で保存してもらいやすくした
課題となったポイント 2	防災マップの縮尺が小さく、自分の家や身近な災害が分かりにくい
改善した内容	防災マップを「 <u>北部</u> 」、「 <u>JR神戸線より北</u> 」、「 <u>JR神戸線より南</u> 」の地域版とすることで、地図の縮尺を大きく表示することができ、自分の家やその周辺の災害を分かりやすくした
課題となったポイント 3	自分がとるべき災害の種類や行動が分かりにくい
改善した内容	災害の種類ごとに分類し、それぞれに「 <u>心得</u> 」、「 <u>いざというときの行動</u> 」を簡潔に記載することで、自分たちが備えるべき災害の種類と準備、行動を明確にした
課題となったポイント 4	行政からの一方通行の情報冊子であった
改善した内容	見開きに家庭などで記載すべきページがあり、地図の最初のページにはこの防災マップの使い方を例示することで、ただの情報冊子ではなく、 <u>各家庭などでのオリジナルマップ</u> となるようにした

読んでもらうためのポイント

災害を恐ろしいことと表現するのではなく、全体的に「やさしく」「見やすく」「分かりやすく」するためのデザイン、色、イラストを使用している

避難所や避難時に知っておくべき、アンダーパス・立体横断施設、公園、防災スピーカーなどを文字ではなく絵文字（ピクト）で表示し、強調することで一目で分かるようにしている

最近の防災情報を取り入れているポイント

自分の命は自分で守る、情報は自ら取りにいくといった「自助」の考えを盛り込んだ啓発内容としている

災害時要援護者を近所や地域で助け合う「共助」に重点をおいて、支援方法などを盛り込んでいる

2. マップの種類

武庫川水系洪水ハザードマップ

土砂災害ハザードマップ

津波ハザードマップ

広域避難地マップ

地質・活断層図

ゆれやすさマップ

液状化マップ

標高マップ

3. 今後のスケジュール

市内全戸（227,000世帯）に個別配付

津波ハザードマップの改定は、津波避難ビルの追加、改訂が頻繁にあることから、マップの差し替えを定期的（1年～2年）に行っていく

西宮市防災マップの改定は、災害想定の大きな見直し時または原則5年で行っていく

【お問い合わせ窓口】

西宮市防災危機管理局防災総括室災害対策課

〒662-8567 西宮市六湛寺町10-3

TEL 0798-35-3546

FAX 0798-36-1990